

私は徳島大学病院として初めてとなる気管内挿管実習生第1号として、平成21年4月から挿管実習を受けさせていただきました。

研修所また署内では人形を使用しての訓練でしたが、いざ手術室に入室し挿管を実施したときは、挿管できているのだろうか等緊張の連続でした。この緊張感は、常日頃の救急活動においても忘れてはならないことだと改めて思いました。

約1ヶ月の期間で30症例の実習を修了することができましたが、これには手術という大きな不安の中、救命士の挿管実習に同意をしていただきました、患者様、そして家族の皆様方の救急救命士に対するご理解、ご協力がなければ出来なかったことと思います。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

また実習病院として引き受けていただきました、徳島大学病院の院長をはじめ、麻酔科の先生方、看護師の方々にはご指導ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

そして、同意していただいた患者の皆様方の気持ちに報いるためにも、今後の活動に活かし病院前救護の担い手として、より一層努力し、救命率向上に取り組んでいきたいと思えます。



美馬市消防署  
知野 昌寿